



Japanese



DELIGHT 4 取扱説明書

SUPAIR s.a.s
PARC ALTAÏS
34 RUE ADRASTÉE
74650 CHAVANOD
FRANCE
RCS ANNECY 387956790

Revision index : V1 25/08/2022



ディライト4をお買い上げいただきありがとうございます！私たちは、共通の情熱であるパラグライディングで、あなたのお供ができることを光栄に思います。

スップエアーは、1984年以来フリーフライトに使用される装備をデザインし、製造し、販売をしてきました。スップエアー製品を選択することにより、40年近くに渡る技術革新とフィードバックによる成果を手に入れることとなります。また私たちの哲学は:より良い製品を開発するためにたゆまず努力し、高い製造品質を保ち続けることです。

この取扱説明書が包括的かつ分かり易いもの、そして願わくばためになるものであると思っただけであることを願っています。十分注意しながら確実にお読みください。

最も新しく更新された製品情報をスップエアーのホームページ(www.supair.com)で確認することができます。ご質問等がある場合には最寄りの販売店にお気軽にご相談ください。もちろんスップエアー・チーム全員もあなたのご質問にお答えすることが可能です(info@supair.com)。

多くの安全なフライト、楽しい時間そして幸せなランディングをされることを望んでいます。

スップエアーチーム

はじめに	4	ハーネスの装着	40
スペック	5	オプション/交換部品	41
サイズチャート	6	フライト中の挙動	44
構成部品	7	フライトの各段階	45
ハーネス外観図	8	プレフライトチェック	45
アクセサリーのセットアップ	9	テイクオフ	45
カラビナ	9	空中	46
バックプロテクションプレート	10	アクセルの使用	46
シートプレート	12	ランディング	46
フットプレート	14	レスキューパラシュートを使う	47
バンプエア	15	トーイング	48
アクセル	18	必須点検	48
レスキューのセットアップ	20	保守	49
レスキューコンテナの特徴	20	クリーニングおよびお手入れ	49
レスキューをインナーコンテナに収納する	20	保管および運搬	49
ハーネスにブライダルを接続する	23	耐用年数	49
パラシュートをブライダルに接続する	25	修理	50
レスキューをハーネスのコンテナに収納する	26	素材	50
レスキューの引き出し確認は必須です	31	リサイクル	50
収納およびガジェット	32	保証	51
ハーネスのたたみ方	33	免責事項	51
ハーネスの調節	35	フライト装備	51
調節項目	35	ディライト4用バンプエアプロテクション	52
ハーネスの調節	36	事故が起きたら	54
スピードバッグの調節	38	整備履歴	55
ハーネスとグライダーの接続	39	ANNEX	56
ハーネスとグライダーの接続	39		
アクセルの接続	39		

スップエアー流パラグライディング—大空を飛翔する情熱を分かち合う—の世界へようこそ！

ディライト4は準軽量クロカンハーネスです。その快適で正確かつコンパクトな機能は、これまでの3代にわたるディライトの成功を継承するものです。今日的で野心的なこのハーネスは初めてのポッドハーネスとして最適です。

ディライト4は旅行に最適で、時にハイクアンドフライにも対応します。フライトの平均時間が4～5時間のクロスカントリーパイロット対象としています。

ディライト4は吊り下げ重量130daN(約130kg)でEN1651+A1およびLTF91/09の認証を取得しています。また、89/686/CEE指令に従ってCE認証を得ています。この製品は、欧州規格EN1651+A1の衝撃保護要件を満たしています。これは、ヨーロッパの安全基準の要件を満たしていることを意味します。

この取扱説明書を読み終わったら、最初のフライトをする前に志キュレーターにぶら下がりて各部をチェックすることを推奨します。

ディライト4は”準軽量”ハーネス(軽量素材で作られている)です。靴ひも用フックや突出した鋏のある靴を使用して使用しないでください。引っかかってスピードバッグ(ポッド)を引き裂いたり、ラインやテープを巻き込んだりするリスクがあります。

注意:この取扱説明書を読むにあたって、手助けとなる3つのアイコンがあります。



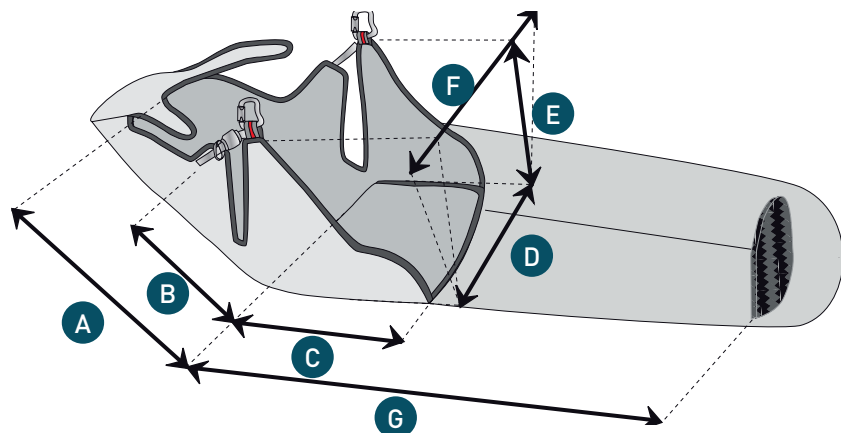
アドバイス



警告！



危険！！



- A 背もたれ高さ
- B リクライニング調節高さ
- C シート深さ
- D シート幅
- E カラビナ高さ
- F カラビナ間距離
- G スピードバッグ長さ

サイズ	S	M	L	XL
パイロット身長 (cm)	155-170	165 -180	180-190	> 190
パイロット体重 (最小 - 最大) (kg)	50- 75 kg	70 - 85 kg	80 - 100 kg	95 - 120 kg
認証吊り下げ重量	130 dNa (約 130 Kg)	130 dNa (約 130 Kg)	130 dNa (約 130 Kg)	130 dNa (約 130 Kg)
ハーネス重量 (kg)	3.62	3.77	4.09	4.17
使用目的	パラグライディングのみ			
A 背もたれ高さ (cm)	58	65	72	76
B リクライニング調節高さ (cm)	35	36,5	41	43
C シート深さ (cm)	45	45	45	49
D シート幅 (cm)	33	33	35	37
E カラビナ高さ (cm)	45	45	46	47
F カラビナ間距離 (cm)	38-46	38-46	40-48	42-48
G スピードバッグ長さ (cm)	77	81	86	98
背面ポケット容量	21 L	22 L	27 L	29 L
バラストポケット容量	5 L	5 L	5.5L	5.5 L
衝撃吸収システム	バンプエアフォーム			
認証	EN 1651+A1, LTF および CE PPE			
タンデム (パイロット・パッセンジャー)	No			
トーイング	Yes			
リリースカラビナ対応	No			
レスキューコンテナ容量	2.9 ~ 5.5 L			

サイズチャート

ハーネスのサイズ選択は大変重要です。下にサイズを選択する際の目安となるチャートを用意しました。しかしながらこのハーネスはハンモックスタイルでフライト姿勢がよりフラットになるので最寄りの販売店で実際にシミュレーターにぶら下がって異なるサイズのハーネスを試し、正しいサイズを選択することを推奨します。

身長 体重	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05
50	S	S	S									
55	S	S	S	S	S							
60	S	S	S	S	S							
65	S	S	S	S	S	M	M					
70	S	S	S	S or M	S or M	M	M					
75			S	S or M	S or M	M	M	M or L				
80				M	M	M	M or L	M or L	L	L or XL		
85				M	M	M	M or L	M or L	L	L or XL		
90						M or L	L	L	L	L or XL	XL	XL
95							L	L	L or XL	L or XL	XL	XL
100							L	L	L or XL	XL	XL	XL
105								L or XL	XL	XL	XL	XL
110									XL	XL	XL	XL
115										XL	XL	XL
120											XL	XL



- ① ハーネス本体
- ② レスキューブライダル(ソロ)
- ③ トグル付きレスキューインナー
- ④ エーデルリッド製フォーラスカラビナ
- ⑤ リペアキット
- ⑥ グライヴェルカラビナ付き安全策
- ⑦ フットプレート
- ⑧ スピードバッグ用3段アクセル
- ⑨ カーボン製シート
- ⑩ ディライト4専用バンブエア
- ⑪ バックプロテクションプレート

ハーネス外觀図



- ① コックピット
- ② レスキューコンテナーおよびトグル
- ③ メインハングポイント
- ④ 小収納ポケット
- ⑤ 背部収納ポケット
- ⑥ チェストベルト
- ⑦ チェストベルト調節
- ⑧ リクライニング角度調節
- ⑨ 肩ベルト調節
- ⑩ レスキューブライダル取り付けポイント
- ⑪ アクセルロープ用プーリー
- ⑫ バンプエア

カラビナ

適応カラビナ:

フォーラスカラビナ

商品コード:MAILMOUSFORAS



バックプロテクションプレート

1. 背部収納ポケットのファスナーを開け、バックプロテクション用ポケットを探し当てます。
2. バックプロテクションポケットのファスナーを開けます。
3. 角が丸くえぐられた方が下側になるようにバックプロテクションを挿入します。



アクセサリーのセットアップ

4. バックプロテクションプレートが確実にポケットの奥まで押し込まれているのを確認します。
5. プレートがポケットに確実に挿入されるようプレート上部がポケット内に収まることを確認します。
6. ポケットのファスナーを閉めます。



シートプレート

ディライト4は、シートプレート有りあるいは無しのもちりでも使用することが可能です。

シートプレート有りではより堅固な感覚と効率的な体重移動をもたらします。ハーネスからはより多くの情報が伝えられより正確になります。また通常の飛行形態から逸脱した際のコントロールは容易になります。シートプレートがあるとサイドからの圧迫がないのでより快適になります。

一方シートプレート無しでは座り心地がソフトになり、ハングポイントがわずかに上がります。従ってハーネスはよりニュートラルな感覚になり安定性が増します。シートプレートが無いと腰回りのホールド感が増します。しかしながら通常の飛行携帯から逸脱した際は、シートプレートが提供してくれるサポートならびに正確さがないため正確なブレークコントロールが必要になることに注意してください。

適応するシートプレート: S / M サイズ用: 商品コード MPPL021 または L / XLサイズ用: 商品コード : MPPL025

シートプレートの挿入:

1. バンプエアの下側にシートプレートポケットがあります。
2. バンプエアポケットのファスナーを開けます。
3. 2番目のファスナーにアクセスできるようにバンプエアを2分割します。



アクセサリーのセットアップ

4. バンプエアフォーム下側のファスナーを開けます。
5. ベルクロで開閉するシートプレートポケットが見いだせます。ベルクロを開けます。
6. 円くえぐられた方が後ろ側になるようにシートプレートを挿入します。



7. シートプレートをすっかりポケットの奥まで押し込みます。
8. ベルクロを閉めます。



フットプレート

適応するフットプレート: S/M : 商品コード: MPPL038 または L/XL : 商品コード: MPPL025

フットプレートの挿入:

1. スピードバッグのつま先部分をひっくり返します。
2. フットプレートポケットのベルクロは開きます。
3. 幅の広い方が上になるようにフットプレートをポケットに挿入します。
4. 確実にプレートがポケット内に収まるようにポケットの上部をプレートにかぶせます。
5. ベルクロを閉め、スピードバッグをもとに戻します。



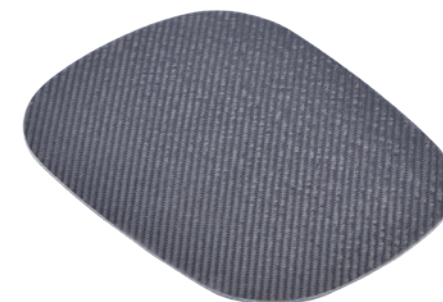
上 幅の広い方



下 幅の狭い方

ディライト4はオプション設定のカーボンフットプレートにも対応します。

商品コード:
S/M : MPPL010
L/XL : MPPL024



バンプエア

ディライト4は専用のバンプエアを装備して使用されなければなりません。

ディライト4のバンプエアは”上部”と”下部”の二つの部分から構成されています。



バンプエアが正しく機能するためには、この二つの部分が正しく挿入装備されていなければなりません。

適応するバンプエア:バンプエア ディライト4

商品コード: PROBUMP4S

バンプエアの挿入:

1. バンプエアポケットにアクセスするためにハーネスのシート部分を折り返します。
2. シートから遠い方のポケットを開きます。
3. ”下部”とマーキングされたフォームを直線側がバラストポケットへ向くように挿入します。



アクセサリーのセットアップ

4. ポケットをファスナーで閉めます。
5. もう片方のポケットを確認します。
6. "上部"とマーキングされたフォームをポケットに挿入します。



7. ポケットをファスナーで閉めます。
8. 二つのバンプエアを重ね合わせます。
9. メインのファスナーを閉めます。



バンプエアを重ね合わせてファスナーで閉める際にアクセルロープをはさみ込まないように注意してください。フライト中アクセルが使用出来なくなります。



アクセサリーのセットアップ

正しく挿入されたバンプエア



バンプエアポケットのファスナーのスライダーはベルトやバンプエアの操作中に絡まないように専用の収納スリーブ内に確実に収めてください。



アクセセル

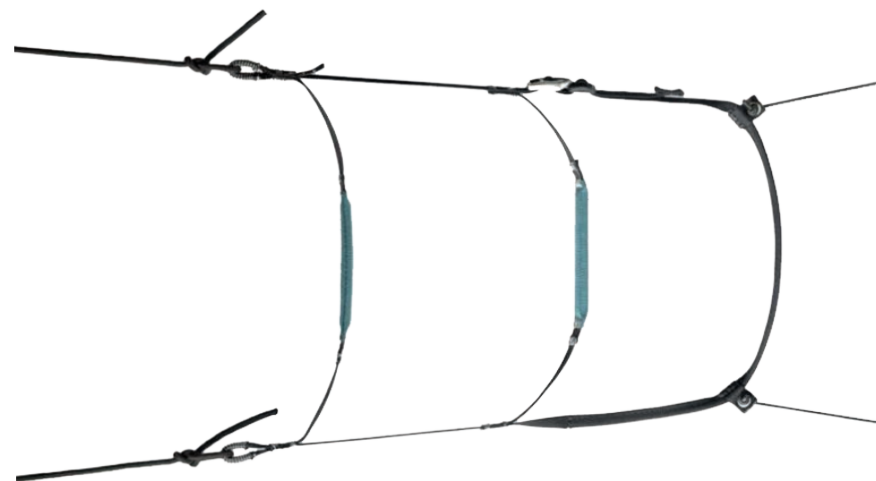
適応するアクセセル:

スピードバッグ用3段アクセセル

商品コード:ACCEL3BSTD



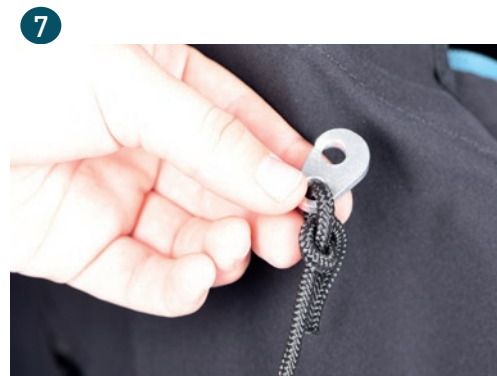
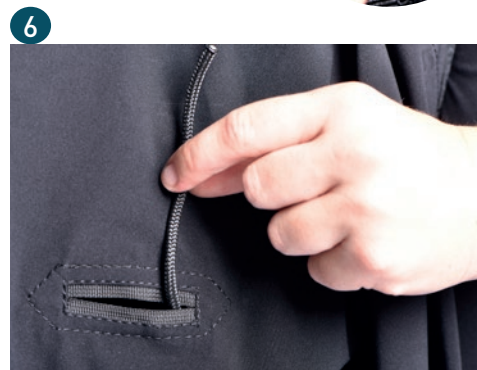
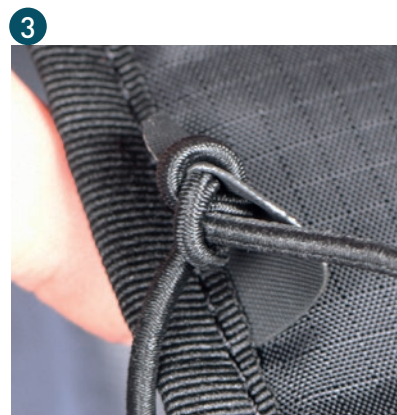
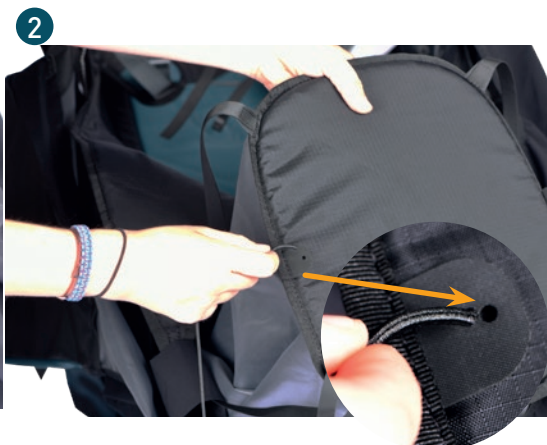
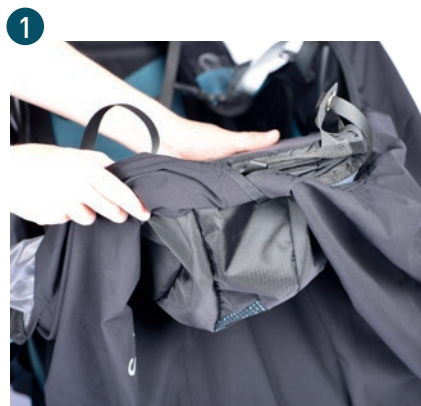
バンプエアを重ね合わせてファスナーで閉める際にアクセセルロープをはさみ込まないように注意してください。フライト中アクセセルが使用出来なくなります。



アクセルの取り付け:

左右両側において行います。

- ① フットプレートにアクセスするためにスピードバッグのつま先を引き出します。
- ② フットプレートに設けられた穴にロープを通します。
- ③ ロープに結び目を作って固定します。
- ④ シートサイドに取り付けられたガイドリングにロープを通します。



- ⑤ アクセルロープをシート脇にあるプーリーに出来るだけシートに近くになるように通します。
- ⑥ スピードバッグサイドに開けられたスリットにロープを通します。
- ⑦ グライダーと接続するためのブルンメルフックをロープに取り付けます。
- ⑧ ロープを出し入れしてアクセルが正しく作動するか確認します。



警告:アクセルロープが短すぎているか確認してください。危険です。アクセルを作動させていないときアクセルロープにテンションがかかってはいけません。

アクセサリーのセットアップ



以下の説明を注意深くお読みください。最初のレスキューの収納は、その方法を熟知している専門家によって行われるように忠告します。レスキューのハーネスへの収納はこの取扱説明書の指示通りに行ってください。それ以外の方法に起因する事象に対する責任は負いかねます。レスキューパラシュートの大きさはパッキング方法により異なります。我々はスップエアーのパラシュートでコンテナサイズを確認しています。他のパラシュートも対応すると考えられますがシステム全体が正しく機能するかの確認はご自身で行って下さい。

レスキューコンテナの特徴



- ファスナーで閉められケーブルによりロックされる方式
- 容量は2.9~5.5L
- スップエアーのシャイン、フルードライト、フルードライトエヴォに適合するほか他のソコ用レスキューにも適合します

ディライト4 S,Mサイズ			
適合するレスキュー	S	M	L
シャイン	✓	✓	✗
フルードライトエヴォ	✓	✓	✓

ディライト4 L,XLサイズ			
適合するレスキュー	S	M	L
シャイン	✓	✓	✓
フルードライトエヴォ	✓	✓	✓

レスキューをインナーコンテナに収納する



警告:ディライト4のS,Mサイズは、専用のS/Mサイズのインナーコンテナを使用し、ディライト4のL,XLサイズは、専用のL/XLサイズのインナーコンテナを使用すること。

1 レスキューはディライト4専用のインナーコンテナに収納しなければなりません。レスキューのそばに移設するためのインナーコンテナを置きます。



2 元のインナーコンテナを開きます。



レスキューのセットアップ

- 3 ディライト4の長方形インナーコンテナの形に合わせてレスキューをたたみ直します。



- 4 サスペンションラインをトグルと反対側にインナーコンテナに収納します。



- 5 ハーネスのリペアキットに含まれているケーブルを使用して、インナーコンテナを閉じるゴムループを下図に示されるような順序でハトメに通し、インナーコンテナを閉めます。



レスキューのセットアップ

- 6 インナーコンテナを閉じたままにするためにサスペンションラインを閉じループに通してロックします。



- 7 最終的に正しく収納されたことを確認します。



ハーネスにブライダルを接続する

A レスキューブライダル接続ポイントへのアクセス

レスキューブライダル接続ポイントへアクセスできるように、ブライダルガイドスリーブのファスナーを左肩口からレスキューコンテナに向かって開放します。



レスキューの最適な開傘を保証するためにハーネスに同梱されているレスキューブライダルを使用することをお勧めします。

B ヒバリ結びでレスキューブライダルを接続する

1 まず一方のブライダルをヒバリ結びでブライダル接続ループへ接続します。ブライダルの大きい方のループを使用してください。



レスキューのセットアップ

- ② 次に反対側も同様に接続します。



- ③ 両方の結び目を締め上げます。



- ④ 最終的な状態が下図のようになっていることを確認します。



パラシュートをブライダルに接続する

角型7mmラピッドリンク1個とOリング2個を用意します。



- まず初めにレスキュー側のブライダルをOリングを使用し滑らないようにラピッドリンク®に接続します。
- Oリングをラピッドリンクに通し1回ひねります。



- ハーネス側の2本のブライダルをOリングに通してからラピッドリンクに接続します。



- Oリングをさらに1回ひってからラピッドリンクに通します。



- ブライダルの接続がきれいに出来上がっているか確認します。
- ブライダルが容易に滑らないことを確認します。
- ラピッドリンク®を一旦手で閉めます。
- プライヤーを使用してさらに4分の1回転増し閉めます。

右図のようにブライダルとレスキューが正しく接続されていることを確認します。



レスキューをハーネスのコンテナに収納する



以下の説明を注意深くお読みください！最初のレスキューの収納は、その方法を熟知している専門家によって行われるように忠告します。

レスキューのパッキングおよびハーネスへの収納はこの取扱説明書の指示通りに行ってください。そうしない場合に対する責任は負いかねます。

- 1 下図に示すようにレスキューはサスペンションラインが上側、かつブライダルがコンテナの奥側に収まるようにセットします。

- 2 ステップ①に示されたように丁寧にレスキューをコンテナの奥までしっかりと挿入します。レスキュートグルはコンテナの外側に出しておきます。

レスキュートグル



レスキューのセットアップ

- 3 ブライダルガイドスリーブのファスナーのスライダーをファスナーの終端まで下げます。トグルだけがコンテナーから出ている格好になります。

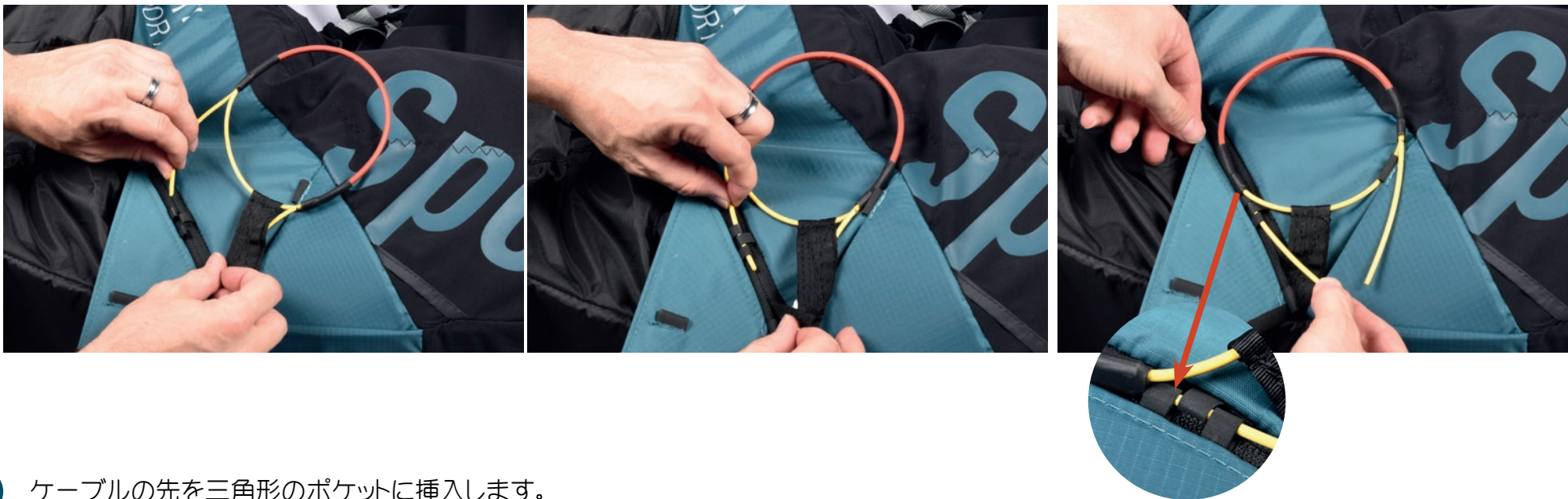


- 4 スライダーをファスナーの中央あたりまで引き揚げます。これでコンテナーが閉じられた状態になります。

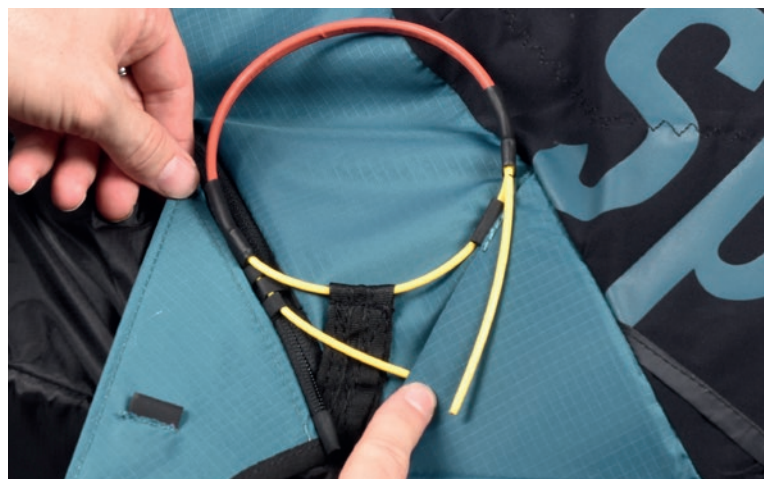


レスキューのセットアップ

- 5 ファスナーにある3つのスリーブにトグルについているケーブル(左図で左側に見える)を差し込みます。ケーブルがすっかり奥まで通っていることを確認してください。



- 6 ケーブルの先を三角形のポケットに挿入します。



レスキューのセットアップ

- 7 2本目のケーブルを三角形のポケットのへりにあるスリーブに通します。今回もまた、ケーブルがすっかり奥まで通っているかを確認してください。

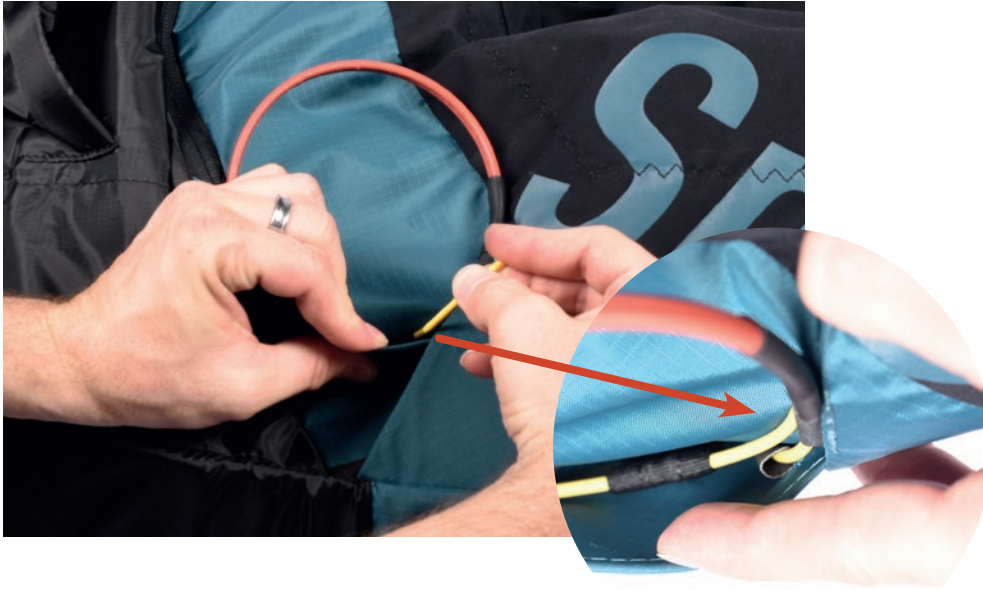


- 8 フラップを三角形のポケットに差し込みます。



レスキューのセットアップ

- 9 フラップをポケットに差し込んだら、2本目のケーブルをフラップの裏側にある最後のスリーブに通します。



- 10 レスキューグルのセットアップが完了しました。最終的にセットアップが下図に示されるようになっていることを確認してください。



レスキューのセットアップ


- 11 ファスナーのスライダーを左肩口のファスナー終端まで引き上げ、ファスナーを閉めます。その後17ページにあるように専用のスリーブにスライダーを確実に収納します。



これでレスキューのセットアップが完了しました。

レスキューの引き出し確認は必須です



 レスキューのセットアップが完了したらシミュレーターにぶら下がり、必ず引き出しテストを実施してください

セットアップが完了したら専門家に正しくセットアップされたか確認してもらってください。パッキングされたレスキューの大きさはレスキューにより異なることがあります。レスキューの引き出しテストにおいてシステムが正しく機能しているかの確認をすることが重要です。6か月ごとに引き出しテストを実施してシステムが正常に機能していることを確認してください。

注意:引き出しテストは、必ずしもレスキューを開傘するところまで行う必要はありません。

収納およびガジェット



ハーネスのたたみ方

1 ハーネスを仰向けに置きます。



2 シートを折り返します。



3 バンプエアのメインファスナーを開きます。



4 バンプエアを広げます。



5 コックピットを開いて平たくしハーネスのセンターに置きます。



6 ハーネスの両端を折りたたみ、肩ベルトでバンプエアを押さええます。



ハーネスのたたみ方


- 7 シートと背もたれの上にフットプレートを差し込み、スピードバッグをたたみます。



- 8 スピードバッグを肩ベルトで押さえます。ロックする胸ストラップを利用してたたまれたハーネスをロックします。



テイクオフで上下に分かれているバンプエアーを一体化させるためにファスナーでバンプエアポケットを閉める際にアクセルをはさみ込まないように注意してください。フライト中アクセルが使用できなくなります。

 **重要:**初めてフライトする前にシミュレーターにぶら下がってハーネスの調節をすることを推奨します。

調節項目

- 1 チェストベルトの長さ調節
- 2 肩ベルトの長さ調節
- 3 リクライニング角度調節
- 4 スピードバッグの調節



ハーネスの調節

リクライニング角度調節:

- 締めるとより背中が起きた状態になります。
- 緩めるとよりリクライニングした状態になります。

← 緩める



締める →



トリマーを使用して肩ベルトを調節する:

肩ベルトにかかるプレッシャーはフライト中の快適さに大きく影響します。適切な長さに調節することが重要で、長すぎても短すぎてもいけません。きつくならず、かつ上体を心地よくサポートするように調節してください。

← 緩める



締める →



チェストベルトの調節:

考慮すべき長さは左右のカラビナの底部センター間の長さです。適切な長さはパラグライダーのモデルによって違います。パラグライダーメーカーの推奨する長さに合わせてください。

← 緩める



締める →

チェストベルトを締めると安定性は増しますが体重移動の効果は減少し、ライザーがツイストするリスクが増大します。

反対にチェストベルトを緩めると体重移動の効果は増大しますが、大気が不安定な場合はリスクが増します(グライダーが潰れた場合に潰れた側に体重が大きく傾く傾向になります)。

腰部のサポート:

この調節により腰部のサポートを好みに合わせて調節が可能です。締めるとフライト姿勢はよりフラットになり、緩めるとフライト姿勢はより腰が落ちた状態になります。

スピードバッグの調節

スピードバッグの長さ:
両足をまっすぐ伸ばし、シートにしっかりと座ります。



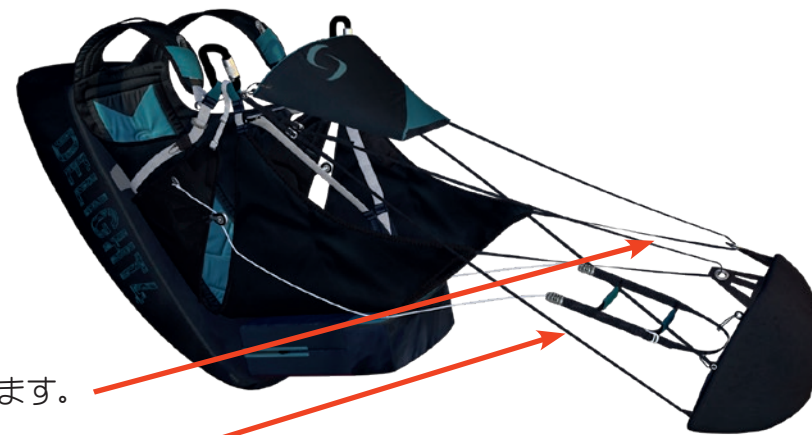
1 つま先用ベルトを調節します。

2 かかと用ベルトを調節します。



ベルトの長さが短すぎたり長すぎたりしたら、接続位置を動かします。

正しく設定出来たら、設定が変わらないようにベルトをバックルに2重通しにして固定します。



ハーネスが前傾している場合:

- スピードバッグの長さ調節ベルトが長すぎる
- 肩ベルトの長さが短すぎる



ハーネスが後傾している場合:

- スピードバッグの長さ調節ベルトが短すぎる
- 肩ベルトの長さが長すぎる

ハーネスとグライダーの接続

ハーネスとグライダーの接続

ライザーがツイストしないようにハーネスのカラビナに取り付けます。

ライザーの向きが正しいか確認します:Aライザーがフライト方向の前側に来る様に(右図参照)。

最後にカラビナが確実に締められているか確認します。



エーデルリッド製
フォーラスカラビナ

飛行方向 →

アクセルの接続

アクセルを18、19ページの説明にしたがってセットアップします。
アクセル側のブルンメルフックとライザー側のブルンメルフックを締結します。
アクセルが接続されたら、パイロットの体形に合わせてアクセルロープの長さを正しく調節します。



アクセルをフリーにしたときにアクセルロープにテンションがかかっていない様にアクセルロープの長さを調節してください。



- 1 両肩ベルトに腕を通します。



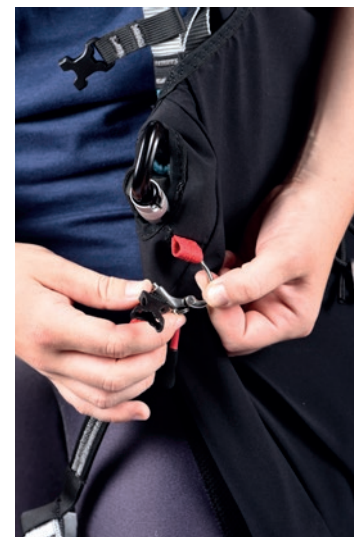
- 2 チェストベルトの左側のバックルを締結します。



- 3 チェストベルトの右側のバックルを締結します。



- 4 落下防止クリップを赤のループに通します。



- 5 赤の落下防止クリップを締結します。



- 6 スピードバッグの右側クリップを締結します。



- 7 コックピットのクリップを締結します。



- 8 スピードバッグの左側クリップを締結します。



- 9 肩ベルト脱落防止ベルトを締結します。



オプション/交換部品

オプション部品:

- 1 コックピットエクステンション:
商品コード: COCREHAUSSE



計器の画面に太陽光が映り込まないように、コックピットの角度を変えるためのエクステンション。

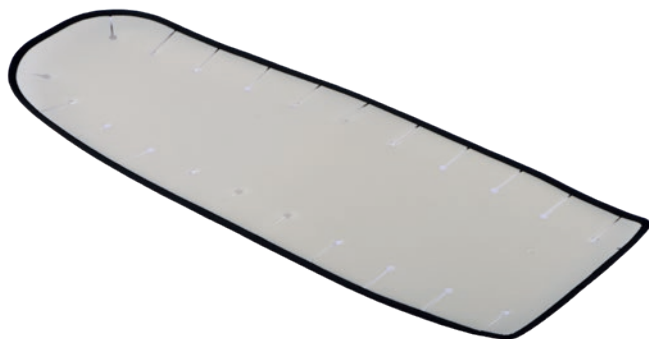
- 2 カーボンフットプレート: S/M サイズ:MPPL010
L/XL サイズ:MPPL024



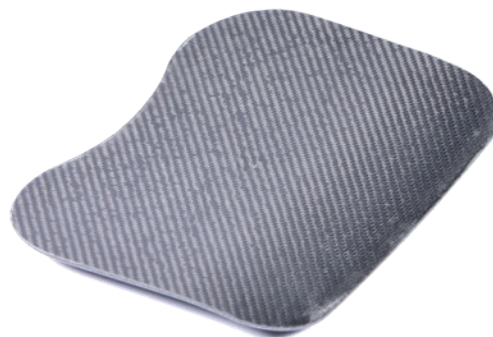
ポリプロピレン製フットプレートより軽量。ハーネスの重量を極限まで軽くしたいパイロット向け。

交換部品:

- 1 穴あき防止マイラー



- 2 カーボン製シート S/M サイズ:MPPL021
L/XL サイズ:MPPL025

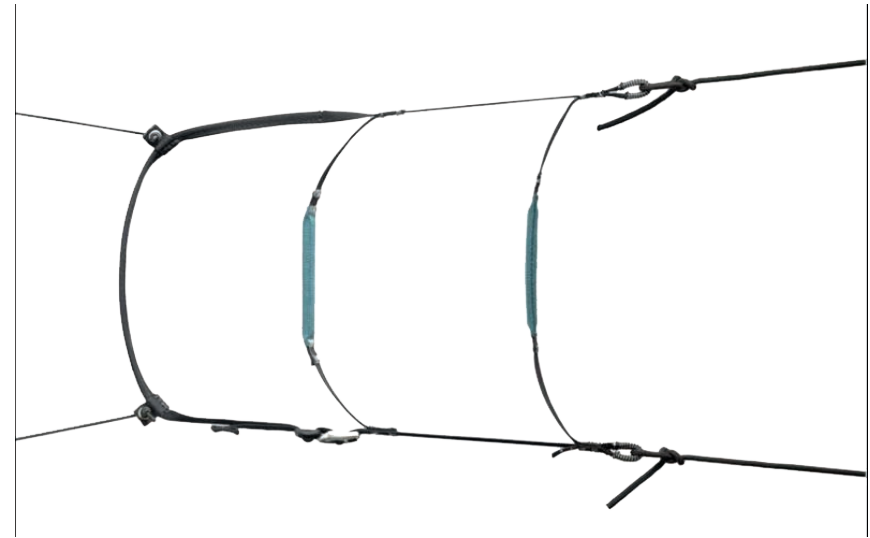


オプション/交換部品

- 4 トグル付きレスキューインナー
商品コード: S/M サイズ:POID4SSM
L/XLサイズ:POID4SLXL



- 5 スピードバッグ用3段アクセル
商品コード:ACCEL3BSTD

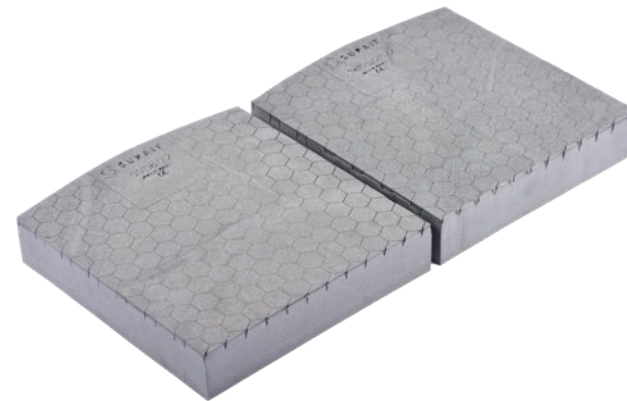


- 6 ポリプロピレン製フットプレート



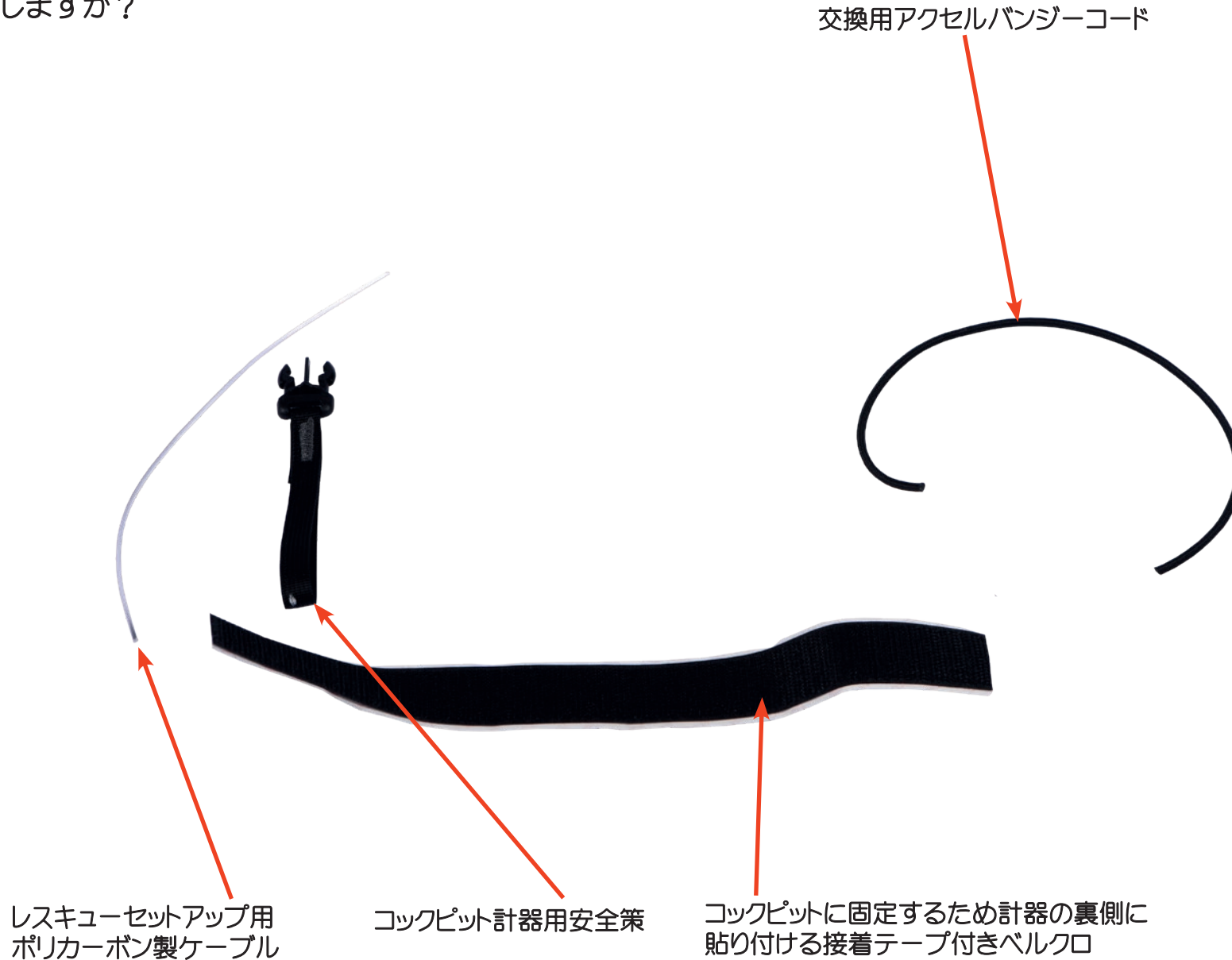
商品コード: S/M サイズ MPPL038
L/XL サイズ MPPL025

- 7 デイライト4専用場バンプエア



商品コード: PROBUMPD4S

リペアキット
何に使用しますか？



フライト中の挙動

ディライトの第4世代のスポーツバージョンであるこのハーネスは、先代の良いところを継承しています:高性能、快適さ、耐衝撃性そして安心感です。

テイクオフにおいて、ディライト4の軽さは優れた機動性を提供し、地上での容易で直感的なコントロールを可能にします。

空中ではその安定感と安心感はディライト3およびストライク2を彷彿させます。このハーネスは大気をフィルターにかけ正確で快適なコントロールに必要な情報のみを伝達します。チェストベルトの長さを変えてディライト4の安定性を調節することにより、パイロットの好みに合わせる事が可能となります。

ディライト4は着座姿勢ならびにセミリクライニング姿勢でコントロールできるようにデザインされています。従って経験豊富なパイロットならびに扱いやすい初めてのポッドハーネスを探しているパイロットにも適しています。

ディライト4は飛行中常に翼のポテンシャルを最大限引き出すことを可能にします。

背部の構造はディライト3より剛性があり加速時の快適性が向上し、そのためクロスカントリーフライトが容易かつ快適なものとなります。空中での調節が可能なためいつでも扱いやすく快適なハーネスと言えます。

高性能、快適、簡潔さによりディライト4スポーツはクロスカントリーフライトに理想的なハーネスです！

このハーネスは脚をまげて着座姿勢でフライトすることが可能で、その体制でコントロールは維持され、乱気流に対処し起こりうる異常事態に最適な方法で処理することが出来ます。

新しいハーネスでフライトする際には、いつものグライダーを使用し、大気の安定した状態で慣れ親しんだエリアでフライトすることを推奨します。



プレフライトチェック



- ハーネス及びカラビナが損傷していないかチェック。
- レスキューパラシュートのトグルのケーブルがレスキューコンテナのフラップを閉めるループに通されていることを注意深くチェック。
- 自分に合ったセッティングが変わっていないかチェック。
- 全てのファスナーおよびバックルが正しく閉められているかチェック。
- アクセルが正しく調整されグライダーに接続されているかチェック。
- レスキュートグルにラインや他の障害物が絡んでいないかチェック。
- カラビナがグライダーとハーネスを正しく締結し、ゲートが確実に閉まっているかチェック。

テイクオフ

気象条件を慎重に見極めた後、フライトすることを決断したらハーネスを装着します。



毎回の離陸前に、この取扱説明書の 40 ページに記載されている指示に従って正しくハーネスを装着していることを確認することが不可欠です。疑問がある場合は、手順を最初からやり直してください



- 離陸したらすぐに座らずに立った姿勢を保ち、斜面から十分離れてからスピードバッグに足を入れハーネスに収まるようにしてください。
- 斜面近くではブレークトグルを離さないように。
- スピードバッグに足を入れハーネスに収まる際に間違えてアクセルを踏み込まないように注意してください。リーディングエッジが潰れる危険性があります。



空中



空中においてディライト4スポーツの挙動は直感的で安定しています。
カラビナ間距離は気象条件に合わせ、グライダーメーカーのガイドラインに沿って調節してください。

アクセルの使用



グライダーが潰れるリスクが増大するのでアクセルの使用は十分注意して行う必要があります。アクセル使用に関するさらなる情報を得るためにグライダーの取扱説明書を参照してください。

アクセルの使用は、乱気流に対して、より敏感になるので、大気が安定している条件で斜面から離れた状況でのみ使用してください。アクセルバーを通してアクセルロープのテンションが減少したと感じたら、すぐにアクセルを戻し、僅かにブレークを当ててください。そうすることで潰れるリスクを軽減することができます。



ハーネスに座るためにアクセルを踏み込まないように（アクセルはフットレストではありません！）。潰れが起きるリスクがあります。アクセルを使用するには、一方のかかとで1段目のアクセルバーを捉え、踏み込みます。その後もう片方の足を添えて安定させるか、2段目のバーに足をかけさらに加速します。さらなる加速には3段目バーを踏むこみます。アクセルバーの踏み込みは左右均等になるようにします。アクセルを戻すには、加速した時と反対に踏み込んだ足をゆっくりと緩めてアクセルバーから足を離します。

ランディング



ランディングアプローチに際しては、十分余裕を持ってスピードバッグから両足を出しておきます。その後、立ち上がった姿勢に移行し、ランディングと共に必要に応じて走り出せるようにします。

ランディングアプローチに際しては常に、気象コンディション並びにランディング場所に合わせて十分高度に余裕を持って行ってください。ランディングアプローチに入ったら急激あるいは過激な操作をしないように注意してください。常にハーネスから腰を出し立った姿勢を取り、必要ならば着地と同時に走り出せるように準備して、風に正対して着地します。

ファイナルアプローチに入ったら気象コンディションに合わせて出来るだけ速度を速く保ちます。地面が近づいてきたらブレークを漸進的に引下げ、最後に着地するとき目一杯引き下げます。ブレークを引き下げるのが早すぎたり急激すぎたりすると、急上昇したり失速したりして大変危険です。タイミングには十分気を付けてください。

強風時でのランディングに際しては、着地と同時に体を半ひねりしグライダーに向き、ブレークを左右均等に引きながらグライダーの方向へ近寄ります。着座姿勢のままランディングしないこと、大変危険です。

レスキューパラシュートを投げる



フライト中レスキュートグルの位置を頻繁に確認することを推奨します。そのために、意識しなくてもトグルを掴めるようになるよう定期的にレスキュートグルを掴む動作を繰り返すことを推奨します。目で見なくてもレスキュートグルをつかめる様にするのが肝要です。そうすることで緊急時にレスキューパラシュートを適切に引き出すことが可能になります。

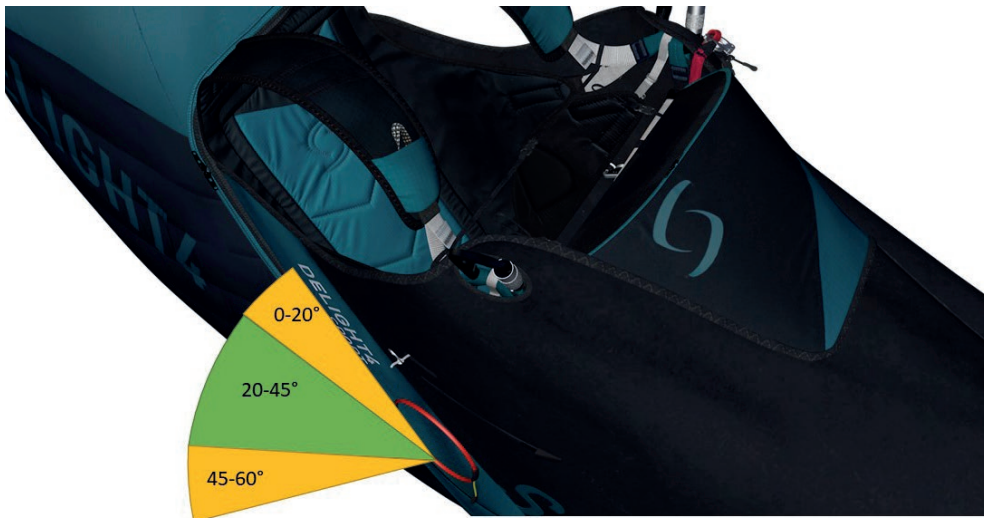
緊急時には、対地高度を適切に判断して下さい。対地高度が十分にあるならばグライダーを回復させる方が良いことがあります。しかし高度がグライダーを回復させるほど十分でない、あるいは判断がつかない場合には、速やかにレスキューパラシュートを引き出してください。



レスキューの開傘は緊急時にのみ行ってください。

力強くレスキュートグルをサイド方向に引き、レスキューをコンテナから取り出し、レスキュー全体（インナーコンテナとトグル）を出来るだけ障害物のない空域へ向けて力強く放り投げます。パラシュートが開傘したらすぐに、ライザー（CまたはD）あるいはブレークを出来るだけ左右対称に引き込んでグライダーを手繰り寄せます（万が一、パラシュートが開傘しなかった場合は、レスキューブライダルを掴み力強く引き込んでください。そうすることでパラシュートの開傘を促すことが出来ます）。

膝をくっつけ、足を僅かに曲げ、立ち姿勢でランディングに備えます。着地と同時に斜めに転がり衝撃を和らげます。



レスキューを外側へ20～45度の角度で引き出すと最適になります。

0～20度あるいは45～60度の範囲では引き出しにより多くの力が必要になります。

レスキューを投げる際には、着座姿勢になり脚をハーネスの下側に下ろし前傾姿勢を取ります。

安全のために定期的にシミュレーターにぶら下がって訓練することを推奨します。

トーイング

トーイングによるスタートには専用のリリースを取り付けなければなりません。
リリースメーカーの指示に従ってハーネスのカラビナ取り付け場所にリリースを接続します。
トーイングに際しては、安全のため必ず専門の資格を持ったオペレーターの下で実施してください。

必須点検

6か月ごとの点検:



- レスキューパラシュートの引き出し検査 (トグルを引き、レスキューがコンテナから正常に引き出せるか)。
- ハーネス全体の状態の検査。

1年ごとの点検:



専門家によるレスキューパラシュートのリパック (パラシュートメーカーのリパックスケジュールが決められていない場合)。

クリーニングおよびお手入れ

時々、ハーネスの汚れを洗い落とすのは良いことです。そのためには、中性洗剤を使い、ブラシで汚れを落とし、その後十分に水洗いして洗剤を落とします。いずれにせよ、ハーネスのテープ、縫製、生地などを傷めるので、漂白剤などの化学薬品あるいは溶剤などは決して使用しないようにして下さい。ファスナーは、時々シリコンスプレーを使って滑りを良くしてください。

ハーネスを定期的に埃っぽい環境(ダート、砂など)で使用しているならば、定期的にカラビナおよびバックルの保守・点検をするように忠告します:中性洗剤で洗い、完璧に乾燥させてください。**油は塗らないこと!**

また、ハーネスを使用する前にカラビナおよびバックルが正しく機能しているかの確認を行ってください。

特に海沿いでハーネスを使用している場合は、より一層注意を払い、厳しく点検をしなければなりません。

保管および運搬

ハーネスを使用しないときは、パラグライダーザックに収納し、紫外線の当たらない乾燥した涼しい清潔な場所に保管してください。ハーネスが湿っている場合には、保管する前に十分乾燥させてください。

ハーネスを運搬する時は、紫外線劣化や傷などが付かないようにバッグに入れて運搬するようにして下さい。また、湿ったままの状態での長時間の運搬は避けてください。

耐用年数



以下の項目を念頭に、2年ごとにハーネスの完全な点検を実施してください:

- テープ類(摩耗状態、裂け目があるか、悪影響のある折り目があるか)
- バックルおよびカラビナの状態(摩耗、クラック、正しく機能しているか)

バンプエアプロテクションは強い衝撃を受けると損傷します。強い衝撃を2回受けるか、5年経過するか、どちらか早いときに新しいものと交換されなければなりません。



ディライト4に使われている、糸、テープと生地は、軽さと寿命の最適バランスを考慮して選択されています。しかしながら、状況によっては、長期間紫外線や化学薬品にさらされたり摩擦を受けたりすることもありますので、認定された修理センターなどで定期的に検査を受ける必要があります。あなた自身の安全に関わることです!



ハーネスに使用されているカラビナは、パラグライディング以外(登山やトーイングなど)には絶対に使用しないでください。カラビナは5年あるいは500時間使用したら交換することを推奨します。レスキューパラシュートは、メーカーの指示に従って定期的にリパックを行ってください。特に指示の無い場合は最低でも1年に1回はリパックをしてください。

修理

このハーネスの製造には最高品質の素材が使用されていますが、通常の使用によって摩耗・破損することが考えられます。摩耗や裂け目などが見られたら、認定された修理センターで検査し必要ならば修理してください。



スップエアーは、保証期間を過ぎた製品でも修理を致します。見積もりのお問い合わせは、直接電話されるか電子メールでsav@supair.comまでお問い合わせください。

素材

生地

リップストップデュラフォードロビック
アクアテックライトストレッチ
スカイテックス 38G
タフタ 50D

テープ

ダイニーマ・ポリエステル 25mm
ポリエステル 15mm
ナイロン 20mm

リサイクル

環境に優しい素材を慎重に選択することで、製造フットプリントを最小限に抑えています:ほとんどの構成素材はリサイクルが可能です。

もしあなたのディライト4が、寿命と判断されたら、全てのプラスチック、金属パーツを取り外し、あなたの地域の最新のごみ収集方法にしたがって処分してください。繊維製品のリサイクルに関しては、繊維製品を担当する地元の機関にお問い合わせください。

保証

スッペアーは、その製品に対するデザイン並びに製造に、大変気を使っています。スッペアーは、その製品に対し、通常の使用における欠陥あるいは設計上の欠点に対し5年間(購入後)保証致します。ただし、不適切あるいは間違った使い方による、また高温、強い日光、高湿度などに、通常ではない程激しく晒されたことによる損傷あるいは劣化に対してはこの保証は適用されません。

免責事項



パラグライディングは、専門技術、専門知識そして正しい判断を必要とするスポーツです。十分注意してください。認定されたスクールで練習し、適切な保険に加入し、フライトライセンスを取得し、あなたの技術が気象条件に適合しているかを確認してください。

スッペアー、ファルホークインターナショナル(有)および販売店は、あなたのパラグライディング活動および飛ぶ飛ばないの判断に対して責任は取ることはできません。全てあなた自身の責任となります。



このスッペアーの製品は、パラグライディング専用デザインされています。スカイダイビングあるいはベースジャンピングのような他の活動に使用することは完全に禁止されています。

フライト装備



パラグライディングをするときに、パラグライディング用として認証を取得しているヘルメット、適切なブーツおよび服装を着用することは、あなたの安全にとって極めて重要です。また、あなたの体重にあったレスキューパラシュートを正しくハーネスに接続しておくことは必須です。

ディライト4用バンプエアプロテクション

あなたが購入されたハーネスはバンプエアによる衝撃吸収システムを採用しています。このプロテクションは、起こりうる衝撃に対してあなたを保護するもので、個人の保護具 (PPE) に関するEU基準2016/425に準拠しており、CRITT-SP SL-003 09/2021プロトコルによる専門家により認証されています。

ハーネスのプロテクションのCE認証は次の認証機関により実施されました: ALIENOR CERTIFICATION n° 2754, Z.A. du Sanital, 21 Rue Albert Einstein, 86100 Chatellerault, FRANCE テスト レポートと EU 適合証明は、次の場所で入手できます。

www.supair.com/telechargements/



如何なるハーネスのプロテクションも怪我に対して完全に防護してくれるものではないことを理解してください。特にバックプロテクションは背骨あるいは骨盤に起こりうる損傷を幾分和らげる程度です。またプロテクションでカバーされている体の一部にしか起こりうる衝撃に対しての吸収効果はありません。



警告: 衝撃吸収システムのいかなる改造および間違った使用法はシステムの性能を危険となるほど損ない、それらの機能が正しく働かなくなることに注意してください。プロテクションは衝撃吸収する要素が存在しかつ正しく装着されていることが必須です。従って、各フライトの前に次のことを確認してください:

- バンプエアプロテクションが正しく適切に挿入されている
- バンプエアプロテクション縫製部分と構成要素の状態 (穴、裂けめ、ほころび、変形など)



通常の使用状況下ではプロテクションの耐用年数は最大5年となっています。
警告! 激しい衝撃を受けた場合には、すぐさまプロテクションを交換しなければならない可能性があります。

運搬:

バンブエアの運搬と保守はハーネスに対するものと同様です。衝撃吸収プロテクションの点検もハーネスに対するものと同様です。バンブエアは圧縮されていない状態で保管しなければなりません。

点検及び修理:

年に1回はプロテクションの点検をしてください。ショックアブソーバーが損傷している場合は、専門家に査定と修理を依頼するか、弊社まで (sav@supair.com) ご連絡ください。

耐用年数:

衝撃吸収プロテクションの耐用年数は、通常の使用において最大5年です。注意:大きな衝撃などの例外的な出来事があった場合、ショックアブソーバーは最初の使用後に廃棄される場合があります。

保管およびクリーニング:

プロテクションは圧縮されていない状態で、乾燥して換気の良い場所で室温で保管してください。クリーニングに際しては清潔な水のみを使用してください。



- EU基準2016/425に準拠
- プロトコルSP-003 09/2021により専門家によって承認
- EU認証はホームページwww.supair.comで確認可能
- 認証はALIENOR CERTIFICATION n° 2754 ZA DU SANTAL 86100 CHATELLERAULT Franceにより実施

個人の保護具 (PPE) 製造者:

SUPAIR SAS
Parc Altaïs, 34 rue Adrastée,
74650 CHAVANOD
FRANCE

事故後の救助要請

緊急電話番号



EUROPE / INDIA	112
USA / CANADA	911
CHINA / JAPAN	119
NEPAL	101
IRAN	112
AUSTRALIA	000
NEW ZEALAND	111

救助が必要?



フラッシュライトによるSOS信号:



整備履歴

このページをあなたのハーネスの整備履歴を把握するために活用してください。

購入日付:	
購入者氏名:	
販売店名・印:	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

MANUAL

COBRA® COMPONENTS

The COBRA® components by AUSTRIALPIN are intended for usage in fall arrest, PPE (personal protective equipment) products, and load security systems (including, but not limited to, harnesses). This COBRA® component must not be used beyond its specific limits, and must be used only for the purpose for which it was designed.

Activities in the heights, for which these COBRA® components are intended as part of a fall protection system, are by nature dangerous. Errors, recklessness or inattentiveness can lead to life threatening injuries or death.

You yourself are responsible for your own actions and decisions. The following instructions for use must be read carefully and thoroughly, understood and followed. They contain important information about certain dangers and risks associated with the use of this COBRA® component. However, it is not possible to outline and describe all potential dangers and risks. These instructions must be kept safe and easily accessible for the entire life and use of this COBRA® component. Re-sellers must provide these instructions to the buyer in the appropriate language.

Manufacturers using this COBRA® component in their products are responsible for the correct and orderly installation. Moreover, they must attach the following instructions to the product or include them in the corresponding manual/operating instructions of the product. In case of misuse or improper application, AUSTRIALPIN rejects and rules out any and all liability

NAMES OF PARTS (ILLUS. 1)

COBRA® Quick Release

(1) Body consists of (a) female part (b) male part; (2) adjuster bar (optional); (3) integrated D-Ring (optional); (4) rivets; (5) clips

COMPONENT MARKINGS

on upper side:

- AUSTRIALPIN: name of manufacturer

on lower side:

- Made in or ORIG.: country of origin AT (Austria)
- batch number multi-digit
- buckles marked with «ANSI»: 4-digit number (year of manufacture) 1-digit (batch number) optionally on upper side:
- COBRA®: name of component group. (see illus. 8)
- kN: breaking load straight pull in kilonewton
- kN: breaking load loop configuration pull in kilonewton
- kN: breaking load of D-Ring straight pull in kilonewton
- PAT. or PAT. PEND: patented or patent applied for
- MOD. DEP.: note of patent on design
- ANSI Z359_: Norm to which component corresponds
- OUL: open under load – buckle can be released while under load
- NO PPE or DO NOT USE FOR FALL PROTECTION: do not use for personal protective equipment
- INDIVIDUAL TST: individual article tested

MATERIALS

Body: aluminum

Rivets, adjuster bar, integrated D-Ring: stainless steel

Clips: brass

Anti slide part: polymer

Material exceptions:

- item no. starts with «FI»: stainless steel body
- item no. starts with «FT»: steel body
- item no. contains «VA4»: 100% stainless steel
- adjuster bar COBRA® FM and COBRA® FZ: aluminum
- adjustment valve SUPER COBRA®: aluminum

COMBINATION; USING TOOLS AS A SYSTEM; COMPATIBILITY

By combining this component with others, the safety features of each component can interfere with each other. Assure yourself of their compatibility. An incorrect combination of components can bring about unintended and unforeseeable dangers, in which case the safe functioning of a given component is no longer guaranteed. The compatibility of connecting components and harness straps must be ensured by the harness manufacturer. The operating instructions of each product must be heeded carefully, in particular those of the catching system, of which this connecting component forms one part.

SIZE

Use the COBRA® components only with corresponding harnesses. A tolerance of ± 3 mm is webbing size of the component name (as designated on the delivery note or invoice) or request this information at office@australpin.at.

INCORPORATION IN THE HARNESS SYSTEM

a) Make allowance for the correct position of the harness component in its closed state. The upper side must be the side turned away

from the body. You can recognize the upper side from the lettering AUSTRALPIN and/or COBRA®. b) For COBRA® components with adjuster bar or middle bridge only: Make sure the strap is correctly threaded through the adjustment mechanism. If the functioning of the harness system permits, sew the end of the strap in such a way that it is impossible to become unthreaded (see illus. 7). c) For multiple-part COBRA® components only: The individual parts must be ordered in the correct way so that when connecting, each upper part is turned away from the body.

THINGS TO CHECK BEFORE, DURING AND AFTER EACH USE

Make sure that the COBRA® component has no cracks, deformations, fractures, fissures or signs of corrosion and that all components are firmly attached to each other.

FOR COBRA® BUCKLES (CLICK-CLOSURES) ONLY

Make sure that the male part and the female part belong to the same component group. (table 1) Check the riveting and the perfect functioning of the clips. Make sure that the buckle closes tightly and securely. Ensure both before and during usage that the buckle is correctly closed. Combine only COBRA® Buckles with the same type; for example FY with FY; FX with FX, FT with FT, etc. Do not use COBRA® components marked with -OUL (open under load) for PPE products.

XPERT CHECK

Quite apart from continuous checking before and during use, the COBRA® components and the overall product must be checked, tested and verified at least once annually by a professional. The product should ideally be used only by one person so that the overall history of the product usage is known. Record the date of its first use. In case products are used by several persons, we recommend a systematic checking and documentation before and after each use.

OPERATING INSTRUCTIONS

General: Always pay close attention to correct alignment, especially the way the COBRA® component are pointing. The upper side must face away from the persons body.

COBRA® buckles:

Open: Press both clips simultaneously.

Close: insert the male part into the female part without exercising the clips. A click sound should be audible from both clips. By pulling on it shortly, test whether the buckle is really closed.

Adjuster bar / Middle bridge: it is possible to adapt the length of the harness with the adjustment mechanism. Take care to backthread the strap correctly (see illus. 7).

If the ends have not been suitably sewn closed by the manufacturer, the harness can come unthreaded. Make sure that the harness does not unintentionally slip out.

CLIMATE FOR USE

The use temperature of the COBRA® component (dry) is from about -80°C to +80 °C.

LIFESPAN

Lifespan of the COBRA® component is largely dependent on the ways it is used and the frequency with which it is used, together with other external influences. Maximum lifespan in optimum storage conditions and without use is 15 years. Maximum life of use as of its first deployment is 10 years. The actual lifespan of the COBRA® component ends when one of the following criteria for end-of-use becomes applicable (see point End of Use) and depends on various factors: intensity of usage, frequency of usage, environment of usage and user competence, storage conditions, care and maintenance, etc.

Unusual circumstances can reduce the component life of an element to a one-time usage, e.g. contact with chemicals, extreme temperatures, salty or acidic atmosphere, sharp edges, extreme loads.

END OF USE

In the following cases, the equipment should immediately be removed from active use:

- The equipment fails to pass the check-test (both before each usage, during use and in regularly conducted test examinations).
- The equipment has been subject to heavy, high burdens (unless perfect and assured use can be verified by a professional person).
- The history of its use is unknown or incomplete.
- In case damages, deformation, cracks or stark abrasion of the metal parts are observed.
- You have doubts about the reliability of the equipment.
- The component is too old (or legal requirements have changed, norms and technical standards have been altered, new rules are introduced, incompatibility with other products is determined, etc.)

For COBRA® buckles only:

- The clips for opening the buckle do not operate or do not operate easily despite thorough cleaning and lubricating; or after having been used do not return to the original position.
- The buckle does not close correctly – the characteristic click-noise must be audible for both clips when closed.

Dispose and destroy the discarded parts immediately in order to prevent any further use by others.

ALTERATIONS AND REPAIRS:

If original parts of the COBRA® component are altered or removed, the safety features can be comprised. The equipment must not be altered or fitted with additional parts in any way which is not expressly recommended by the manufacturer.

STORAGE, TRAN AND MAINTENANCE

Store your equipment in a dry state in a dry place protected from daylight at normal environmental temperatures (-10° to +30°C) where it is free of any mechanical compression, pressure or tensile load. Store the equipment away from chemicals, and away from an acidic or saline atmosphere. Avoid ongoing vibrations. Use the protective bag or special storage and tran containers with non-metallic bottoms (to prevent contact corrosion).

CLEANING

Clean dirty COBRA® components in lukewarm water (if necessary using neutral soap). Rinse them well. Dry at room temperature, never in an electric dryer or near electric radiators. Use only approved household disinfection liquids not any containing halogen as needed.

The joints of all metal parts must be relubricated with a dry lubricant regularly, particularly following cleaning (such dry lubricants perform their lubricating function even when in a dry state so that no dust or dirt can cling to it).

If the instructions for use are not heeded, life threatening dangers can result. Printing errors and omissions, as well as technical changes, are ruled out.

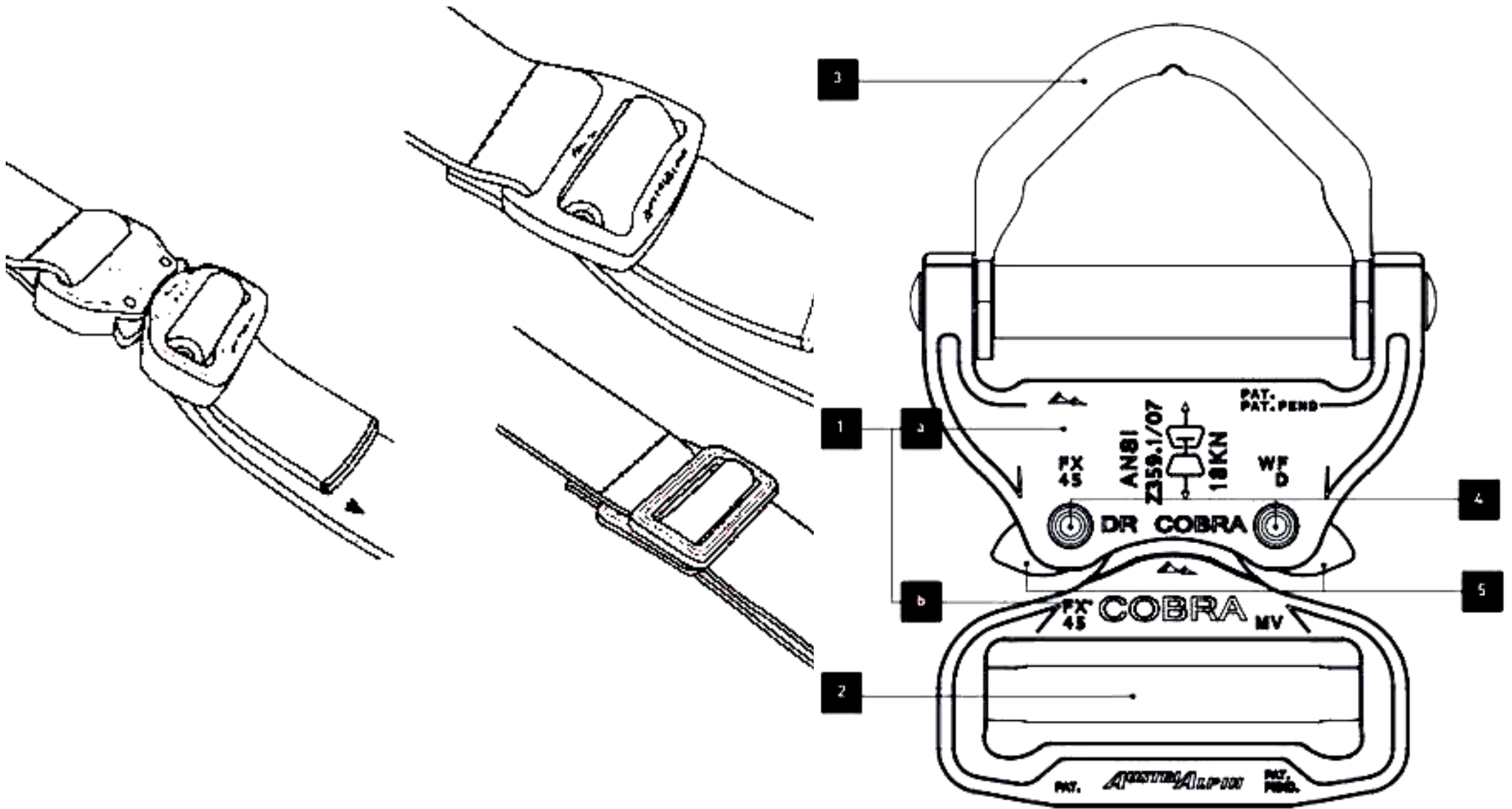
ANSI test carried out by UL LLC.

© AUSTRIALPIN GmbH

01/2019, Subject to printing errors and technical changes.

AUSTRIALPIN®

and COBRA® are registered trademarks.





SUPAIR s.a.s
Parc Altais
34 rue Adrastée
74650 Chavanod, Annecy
FRANCE

www.supair.com
info@supair.com
+334 50 45 75 29

RCS ANNECY 387956790

■ ■ DESIGNED
■ ■ IN ANNECY



輸入者 ファルホークインターナショナル有限公司
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12
<https://www.falhawk.co.jp> Email:info@falhawk.co.jp